

SSK

視覚 障害

昭和五七年二月一五日SSK通刊第九一四号（毎月六回、5の日、0の日発行）
昭和四六年六月一七日 第五種郵便物認可



その研究と情報

1982年3月 No.58

ISSN 0385-7476

歴史と躍動する世界を知る

本辞典の特色

▼収載人名項目数二万五〇〇〇余。紀元前数世紀の時代から、一九八〇年代に至る。
▼東西ヨーロッパ・南北アメリカ・アラブ中近東・アフリカ・インド・オセアニアまでを含み、世界の大部分の地域にわたる。
▼人物の選択は、現代社会のあらゆる目的に適應するよう、すべての部門・階層から広く選び、神話・聖書・伝説や文芸作品中の

▼典型的人物をも採録する。
▼最新の二十五 years 間に、各分野で活躍した二〇〇名を新たに増補。さらに既収の人物で、その後の業績いじむらしい二六〇名について記述の追補を行った。その執筆には各分野の専門家二〇〇名の協力を得た。
▼ノーベル賞受賞者一覧・各国元首表、原綴（欧文）による総索引を付す。

岩波西洋人名辞典 増補版

篠田英雄編

一九五六年初版の名著。久しく品切であったが、このたび最新の資料により修訂増補。時代は古代から現代に及ぶ。神話・聖書や文芸作品中の典型的人物も収録。増補に際し、最近の二十五年間、各分野で活躍の二〇〇名を新たに加え、既収人物でその後の業績の著しい二六〇名について補筆。一九八〇年代の正確な世界認識のための確実な情報を提供。

菊判・二三八頁 定価一三、〇〇〇円



お求めの岩波書店の出版物が小売書店の店頭になく場合は、その書店にご注文下さい。

岩波書店



東京 千代田一ツ橋 ⑩101
振替番号〈東京〉6-26240

障害者インターナショナル第1回国際会議

於・シンガポール（1981年11月30日～12月4日）



開会式——会場サイドには現地の取材班がつめかけた。



初日（11月30日）のパネル・ディスカッション 『障害者組織をいかに発展させるか』
 左から ジョシュア・マリंगा氏（ジンバブエ）、ヘンリー・エンズ氏（カナダ）、
 ロン・チャンドラン・ダドレイ氏（シンガポール）、ベント・リンクエスト氏（スウェーデン）、
 今岡秀蔵氏（日本）。会議最終日、このうちロン氏が初代DPI会長に、ヘンリー氏が
 会長代理に、ベント氏が書記に、ジョシュア氏が会計に選出された。ロン、ベント両氏は
 視力障害者である。



中華民国から参加した視力障害の
 大学教授李序僧氏。



会議に聴きいる日本の視力障害者のグループ。若干グループは熱心に録音をとった。



参加者は肌の色も障害の種類もさまざま。



「障害者の政治への参加」について演説する八代英太氏。

“政治は、向うから参加せよと言ってはくれない。障害者自身が積極的にならねば……”





交流会——二日目(12月1日)の夜、アジア・太平洋地域の参加者によるパーティーを、日本チームの主催で開いた。これから先、長い間手をたずさえていく仲間同志が、国境をこえてうちとけた。



選挙——世界評議会のメンバーの選挙は、地域ごとにおこなわれた。これは東アジア地域の選挙のひとつま。

写真と文 久保田 哲(八代英太秘書)

目 次

1982年 3月 №58

2 ページ評論	瀬尾 政雄… 2
---------------	----------

特集 理科教育

高橋しのぶさんと理科の授業	平林 浩… 5
---------------------	---------

80年代の視覚障害児教育(8)

理科 — 実験・観察を中心に —	鳥山 由子… 41
------------------------	-----------

この人 英検 1 級に受かった寺西さん	50
---------------------------	----

インフォメーション・コーナー	54
----------------------	----

編集後記	59
------------	----

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

本号で、はじめ、特集として「私たち中学生」という座談会を予定していました。インテグレーションで中学に進んだ盲生徒と、盲学校で学んでいる中学生との話し合いの中から、交友関係の広がり、趣味や遊び、これからの人生に対する考え方など、現代の若者らしい発言が聞けるものと期待していました。ところが首都圏に住む5人の統合教育組の“親”から、一人を除いて出席を拒否され、座談会は成立しませんでした。なぜ拒否するのか理由はいろいろあるのですが、私は、“自然でない”ものを感じました。「盲学校と比較される」と解釈されたのかかもしれませんが、フランクでない環境の中で、子どもたちがどんな生活をし、どんな考えを持っているのか、逆に知りたい衝動にかられました。

そのあおりで、平林先生にはまことに申しわけなかったのですが、急きょ、貴重な実践報告を執筆していただくことになりました。しかし、鳥山先生と合わせて、かえってりっぱな特集になったと喜んでおります。平林先生にはお礼の申し上げようもございません。

本会が発行した『標準点字表記辞典』はおかげさまで順調な売れ行きを見せています。しかし、まだ残部は相当ありますので、ぜひ、皆様の周囲の点字に関心のある方にお勧めください。

(田中 徹二)

視 覚 障 害 1982年3月 No.58
年間購読料 2,500円(送料とも)
発行日 1982年3月1日
編集人 (連絡先)

日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目
日本点字図書館内 23番4号
電話 (03) 200-1130

振替口座 東京 6-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砧8-21-3

協賛団体 日本点字図書館